

「第7次川崎市子どもの権利に関する行動計画」の令和6年度進捗状況について

第7次川崎市子どもの権利に関する行動計画は、川崎市子どもの権利に関する条例第36条第1項の規定に基づき、子どもに関する施策の推進に際し、子どもの権利の保障を総合的かつ計画的に図るために、令和5年3月に策定しました。

令和6年度の進捗状況について、報告いたします。

1 計画の進行管理について

計画期間（令和5年度～令和7年度）中、毎年度各事業の取組について進捗状況を把握することとしており、今回は令和6年度の状況について報告します。

●進行管理の流れ（予定）

第7次川崎市子どもの権利に関する行動計画について

令和7年7月 令和6年度実施状況の庁内取りまとめ

8月 こども施策庁内推進本部会議検討部会に報告
子どもの権利委員会に報告
公表



2 取組状況について

各事業概要に示された目標の達成状況を5段階で評価します。

達成度1 目標を大きく上回って達成

達成度2 目標を上回って達成

達成度3 ほぼ目標どおり

達成度4 目標を下回った

達成度5 目標を大きく下回った

本計画の目標がどの程度達成されているかを客観的に評価するために、「成果指標」を施策の方向ごとに設定しており、指標はすべて川崎市子どもの権利に関する実態・意識調査を出典としています。

令和4年度に実施した第8回調査を本計画の成果指標の参考値とし、令和6年度に第9回調査を実施しました。

●施策の方向Ⅰ 「広報・啓発、学習への支援及び市民活動への支援」

3＝ほぼ目標どおり

58件

成果指標：条例を「知っている」、「聞いたことがある」と回答する市民の割合

1 子ども（10～17歳）

第7次計画策定時	計画期間の目標値（令和7年度）	現状（令和6年度）
59.7%	63.0%以上	49.0%

2 大人（18歳以上）

第7次計画策定時	計画期間の目標値（令和7年度）	現状（令和6年度）
42.3%	46.0%以上	33.1%

施策の方向Ⅰの成果指標は、現状が目標値を下回っています。これまでも様々な手法で広報・啓発の取組をしてきましたが、さらに条例の広報・啓発に向けた取組を進める必要があります。

●施策の方向Ⅱ 「個別の支援」

3＝ほぼ目標どおり

49件

成果指標：子どもが、生活の中で文化・国籍等の違い、障害の有無にかかわらず大切にされているかについて、「思う」「だいたい思う」と回答する市民の割合

1 子ども（10～17歳）

第7次計画策定時	計画期間の目標値（令和7年度）	現状（令和6年度）
89.7%	94.0%以上	89.2%

2 大人（18歳以上）

第7次計画策定時	計画期間の目標値（令和7年度）	現状（令和6年度）
79.9%	85.0%以上	82.9%

施策の方向Ⅱの成果指標は、現状が目標値を下回っているものの、計画策定時よりは子どもは横ばい、大人は上昇傾向にあります。子どもを取り巻く環境は大きく変化してきており、引き続き個別の支援に向けた取組を充実する必要があります。

●施策の方向Ⅲ 「家庭、育ち・学ぶ施設及び地域における子どもの権利保障」

3＝ほぼ目標どおり

195件

4＝目標を下回った

2件

※達成度4と評価した2件は「地域の寺子屋事業」です。

担い手がないエリアがあるなどの課題により、開設数は99か所（目標141か所）と目標値を下回ったことから達成度4になっています。

成果指標1：条例を「聞いたことがあるが内容はよくわからない」、「知らない」と回答する育ち・学ぶ施設の職員の割合

第7次計画策定時	計画期間の目標値（令和7年度）	現状（令和6年度）
17.5%	12.0%以下	28.4%

※令和6年調査では、「名前だけ知っている」「知らない」と回答した割合

成果指標2：子どもとの関わりの中で、子どもの権利や条例を「あまり意識していない」「意識していない」と回答する育ち・学ぶ施設の職員の割合

第7次計画策定時	計画期間の目標値（令和7年度）	現状（令和6年度）
15.0%	10.0%以下	14.9%

施策の方向Ⅲの成果指標1、2は現状が目標値を下回っています。これまでも育ち・学ぶ施設の職員への研修や周知の取組をしてきましたが、引き続き家庭、育ち・学ぶ施設及び地域における子どもの権利保障に向けた取組を進める必要があります。

●施策の方向Ⅳ 「子どもの参加」

3 = ほぼ目標どおり

63件

廃止となった事業

2件

※廃止となった事業は「竹あんどんづくり」と「あさおくきっずページ」です。

「竹あんどんづくり」は、事業形態を変更したため廃止となりました。

「あさおくきっずページ」は、市のこどもページの内容と重複するため廃止となりました。

成果指標 1：地域の活動やイベント、ボランティア活動等に参加したことが「ない」と回答する子どもの割合

第7次計画策定時	計画期間の目標値（令和7年度）	現状（令和6年度）
44.6%	39.0%以下	44.7%

成果指標 2：地域の話し合い（子ども会議、地域のイベント等運営会議、学校教育推進会議など）に参加したことが「ない」と回答する子どもの割合

第7次計画策定時	計画期間の目標値（令和7年度）	現状（令和6年度）
78.9%	60.0%以下	70.6%

施策の方向Ⅳの成果指標1、2は、現状が目標値を下回っているものの、計画策定時よりは成果指標1は横ばい、成果指標2は上回っています。これまでも、新たな子どもの参加・意見表明の取組をしてきましたが、引き続き子どもの参加・意見表明に向けた取組を促進する必要があります。

●施策の方向Ⅴ 「相談及び救済」

3 = ほぼ目標どおり

17件

成果指標：困ったり悩んだりしたとき、どの相談・救済機関にも相談「できない」「したいと思わない」と回答する子どもの割合

第7次計画策定時	計画期間の目標値（令和7年度）	現状（令和6年度）
63.3%	47.0%以下	57.0%

施策の方向Ⅴの成果指標は、現状が目標値を下回っています。これまでも子どもが安心して相談できるよう、相談・救済機関等の周知の取組をしてきましたが、引き続き相談・救済に向けた取組を進める必要があります。